2016-17 “INTERNATIONAL ROTARY　DISTRICT2770
IWATSUKI ROTARY CLUB

Weekly Report

クラブ・テーマ　「時流にあわせた変化と発展」

会　長 小田光司　　例会場 ： 割烹「ふな又」　例会日：木曜日　点鐘 12:30～13:30
幹　事 田中芳明　　事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203　℡048-758-0680　FAX048-758-0681
会長Ｅ 小林利郎　　htt://www.iwatsuki-rotaryclub.jp　E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度　第25回　通算2596例会　　平成29年2月2日

会長の時間　　第 54 代会長　小田光司

いよいよ２月になりました。最近は風の強い日が多くて嫌になってしまいます。気温は高くても体感温度は寒くて、やはり冬なんだなぁと感じます。私の会長任期も残り５か月を切りました。クラブへの風当たりは、なるべく少なければよいなぁと思っております。

本日は社会奉仕の現況についてお話していただけるということで、地区社会奉仕部門委員長の丹井亮一様にお越しいただいております。お忙しいところありがとうございます。また、新会員予定者の小林祐次様にも近くいらしていただく予定ですので宜しくお願い致します。

前回の例会でロータリー財団のお話をしていただきましたが、奉仕をして行く上でお金はやはり必要不可欠な物であります。そこでご寄付のお願いをさせていただいている訳ですが、無理のないご協力と奉仕の理念をしっかりと胸に抱いた活動をしていただければと思います。

「ロータリーを知ろう」ということで今年度の活動をさせていただいておりますが、年度が始まった時より少しでもわかってきたような気がしていただけていたなら幸いです。また少しでも興味を持ったり、わからないと思ったことがあったら調べてみようとか、誰かに聞いてみようと思ってくれたなら、とても嬉しく思います。

本日の卓話も皆様のこれからのロータリー活動にすぐに役立つものであると確信しております。しっかりと勉強させていただきましょう。よろしくお願いいたします。

幹事報告　　幹事　田中芳明

1、　地区より 2016-17 年度の米山記念奨学部門「修了式」のご案内が来ています。
　　日時　３月 12 日 14：00～18：00 予定
　　場所　ラフレさいたま 4F
2、　ＲＩ日本事務局より財団室ＮＥＷＳ２月号が届いています。
3、　２月のロータリーレートは１ドル＝116 円です。
4、　岩槻東ＲＣ様、大宮北東ＲＣ様より２月の例会予定表が届いています。
　　以上４点となっています。

会員誕生祝　　2月

２月 18 日　鈴木真樹会員
おめでとうございます

委員会報告

奉仕委員会　　委員長　増岡昌行

２月 10 日～２月 15 日に、日韓青少年交換事業において韓国の学生が来日致します。そこで、岩槻ロータリークラブでは３名の韓国学生を受け入れることになりました。２月 14 日には、岩槻高校で日本の高校生の授業を体験した後、岩槻クラブ主催のフェアウェル・パーティ（送別会）にご参加頂き、日本での思い出をより深いものにして頂こうと思っております。
つきましては、ぜひ多くの会員皆様にご出席をお願い申し上げます。

卓話

『社会奉仕事業』
第 2770 地区　社会奉仕部門
委員長　丹井亮一　様

社会奉仕部門は地域社会奉仕委員会とプライダル委員会の二つに分かれて活動しています。

●地域社会奉仕委員会

1. ペットボトルキャップ回収キャンペーンを主導しポリオ撲滅に協力する
2. ロータリー財団部門と協力して地区補助金を使った事業の把握と支援
3. 東日本震災復興支援活動を継続。また、情報の収集
4. 災害の義捐金募集など支援体制の整備、考え方を整理する
5. クラブが実施する社会奉仕活動資金調達のためのチャリティー等を支援

◆ 次回の例会 ◆　平成29年2月9日（木）　卓話　イニシエーションスピーチ　　点鐘 18:00　会場　ふな又

その他、「腎アイバンク」の登録拡大、認知症サポーター養成のための活動などにも力をいれております。

●ブライダル委員会

1. クラブと協力して登録者を増やしましょう
2. ブライダルコーディネーターの方々と協力し実効性のある企画の実施
3. ブライダル委員会の広報の強化
4. 地区大会でカップル、親子を招待し委員会の実績をアピールする
5. ロータリークラブの奉仕事業への登録者の参加の機会を与える

「ブライダル講話」

歴史の転機➡深刻な危機が国を襲う。それは人口減少と超高齢化社会。

1 現在の人口　1 億 2,700 万人

・30 年後、1 億人を大きく割り、100 年後は江戸時代並みの 4000 万人まで減る。（朝日新聞）

・2035 年、単独世帯が 40%になり、生涯未婚率は男性 3 人に 1 人、女性 5 人に 1 人となる。（人口問題研究所）

2 減少のスピードが急激

① 2016 年出生人数 100 万人割れ。981,000 人
最も多い昭和 49 年では 269 万 7 千人。婚姻は戦後最小の 62 万 1 千組。

② 人口の減少とともに乗車率の減少からＪＲ北海道では 10 路線 13 区間がもはや単独では維持できなくなっている。鉄道がなくなって栄えた町はない。岐路に立つ地域鉄道。

③ 年齢構成の高齢化にともない、社会保障制度の維持不可。

3 ・空き家➡全国で 820 万戸（14%空家率）
空き家が放置されると治安や防災上危険。

・1 人が一生で消費する金額は 2 億円といわれているが、このままではつぶれる店、会社が増えるだろう。
人口 1 万人の減少で 2 兆円の消費が無くなるといわれる。

・税や保険料を納める現役世代が減ると年金、介護の財源が確保できない。

4 ① 結婚や出産は個人の問題と考え、国家も人も違和感を覚え、なかなか触れられない。

② 人口減少が重要な政治課題にならないのは、すぐに国民が困るような事が起きている実感が無いから。

③ 私は「子供のいる人生」とは違う人生を歩みたいと語る人もいるので、上からの強制は出来ない。

ためらう結婚➡結婚後の生活不安、
まだ必要性を感じない。
適当な相手に巡りあわない。

5 ① まず結婚を奨励・・・ブライダルを重視。
（昔は仲人、祖父・祖母の縁も利用された）

② 子供を儲けるのに支障となっている要因を取り除く事。企業側は出産・育児休暇を。政府も自治体も、出産や子育てに経済的支援を。

③ 意識革命・・・少子化対策成功例
少子化対策重視のフランスとスウェーデンでは人口は増えた結果、婚外子が 50%を超える。
また、「結婚移民」を支援している韓国では、韓国人と結婚して外国から移り住む移民に政府も自治体も支援対策を用意。15 年で多文化家族 80 万人、多文化支援センターは全国で 220 か所。

④ 高校までの授業料を支援する埼玉県比企郡滑川町では人口が増加している。東京都や大阪府では私立高校の修学支援を実施。

ちなみに、わが社では未婚の結婚適齢期の従業員 62 名にブライダル担当者をつけました。

このまま少子高齢化が進むと、国益を損ない、経済の縮小が進み、不景気になる。本人の寂しさと不幸が始まる。人間としての楽しみがない。10 年先、30 年先をみれば、今なんとかしなければ。

「不都合な真実」に目を背けないで、日本を救うために、まず、我々が動こうではありませんか。まずは我が地区のブライダル委員会から動きます。

スマイルＢＯＸより

ビジター

第 2770 地区社会奉仕部門　委員長　丹井亮一 様（桶川）
「本日は卓話にお招き頂き、誠にありがとうございます。」

メンバー（50 音順）

小田光司　菊地　廣　小林利郎　塩田淳司　鈴木　隆
鈴木真樹　関根信行　田口雅弘　田中芳明　田畑寛樹
中村　正　増岡昌行　三浦宣之

✿ たくさんのご芳志ありがとうございました ✿

スマイル報告	
本日のスマイル合計	18,000 円
年間累計額	530,000 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
24	14	1	1	66.67%

発 行　支援･広報･学友委員会　委員長 鈴木 隆　副委員長 根岸節子　委員 志水一雄